

東海経済レポート

（2021年6月）

～東海経済は緊急事態宣言の解除で持ち直し方向に～

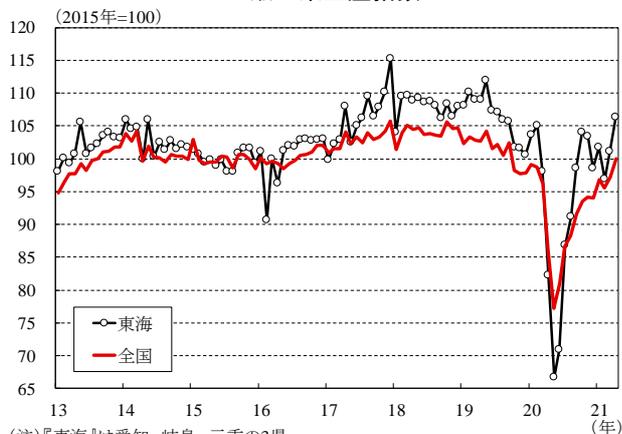
【足元の経済情勢】

- ◇ 東海経済は、緩やかに持ち直しつつあるとみられる。愛知県での緊急事態宣言が延長されるなど景気に対する下押し圧力が一時強まったものの、同宣言は6月20日までに解除された。感染症再拡大の懸念や半導体供給不足の影響は暫く残存するものの、ワクチン接種の進展につれてコロナ禍が沈静化に向かい、経済活動が徐々に正常化していくことで、景気は今後、次第に回復基調が強まっていくと予想される。
- 生産：4月の鉱工業生産指数は前月比+5.1%と2ヵ月連続で上昇、水準では106.3とコロナ禍直前の2020年2月（105.1）を約1.1%上回るどころまで回復した。業種別では、当地域主力の輸送機械が同+8.7%、電気機械が同+1.5%、生産用機械が同+8.3%、電子部品・デバイスは同+5.6%とそれぞれ上昇した。
- 設備投資：1-3月期の大企業の設備投資額は前年比▲17.5%と4四半期ぶりに減少した。製造業が減少し、非製造業は略横這いだった。金属工作機械の4月の国内受注額（当地区主要8社）は前年の落ち込みの反動で前年比+90.9%と大幅に増加した（29ヵ月ぶりのプラス）。金額では2019年度の月平均に近い水準まで回復した。
- 輸出額(円ベース)：5月は前年比+77.9%と3ヵ月連続で増加した。前年同月がコロナ禍の影響で輸出が大幅に減少していた反動で大幅な伸びとなったが、金額でも1.46兆円と、コロナ禍前の2019年同月（1.46兆円）と同水準まで回復した。地域別では、米国向け（同+124.0%）、EU向け（同+104.0%）、中国向け（同+20.4%）など主要国向けがいずれも大幅に増加、品目別でも当地区主力の自動車や自動車部品を中心に、主要品目が揃って増加した。
- 雇用：4月の有効求人倍率は愛知県で上昇、他3県は横這い～微減だった。雇用市場のウェイトの大きい愛知県（1.12倍）は全国（1.09倍）を9ヵ月ぶりに上回った。
- 個人消費：4月の小売主要3業態の販売額はスーパーが前年比▲0.1%と略横這いの一方、百貨店は同+174.1%、コンビニは同+6.2%と増加した。但し、百貨店販売額は333億円とコロナ禍前の2019年同月（415億円）の8割程度に止まる。
- 住宅投資：4月の住宅着工戸数は年率換算8.6万戸、前年比▲0.2%と略横這いとなり、下げ止まりの動きがみられる。分譲戸建て（同▲1.3%）、分譲マンション（同▲38.6%）が減少した一方、持家（同+4.8%）、貸家（同+24.2%）は増加した。
- 景況感：5月の景気ウォッチャー調査の現状判断DIは、国内の感染再拡大も影響し、37.7(前月比▲2.0ポイント)と2ヵ月連続で低下した。

【生産①】

4月の鉱工業生産指数は前月比+5.1%と上昇。水準は106.3と2020年2月(105.1)を約1.1%上回る。

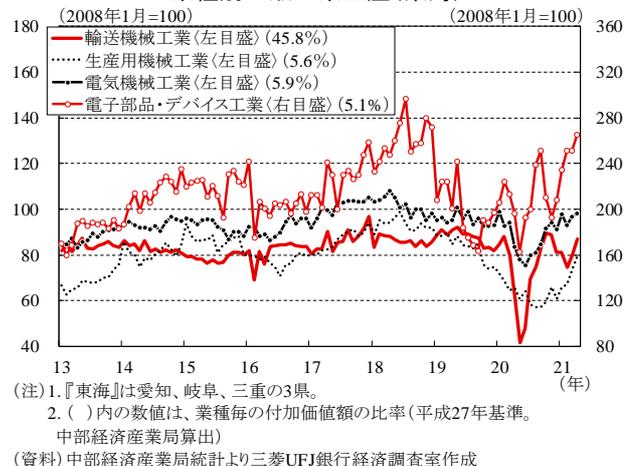
鉱工業生産指数



【生産②業種別】

輸送用機械が前月比+8.7%、生産用機械が同+8.3%など主要品目で総じて上昇した。

業種別の鉱工業生産(東海)



【設備投資】

1-3月期の大企業の設備投資は、前年比▲17.5%と4四半期ぶりのマイナス。製造業が減少。

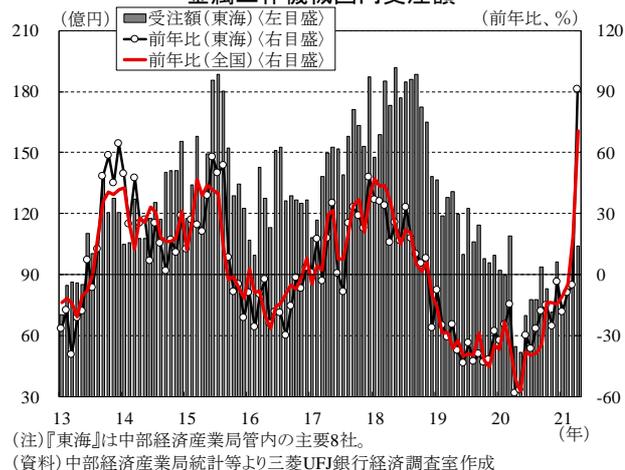
大企業の設備投資



【金属工作機械受注(国内)】

4月の金属工作機械の国内受注額は前年比+90.9%、前年の落ち込みの反動で大幅増加。

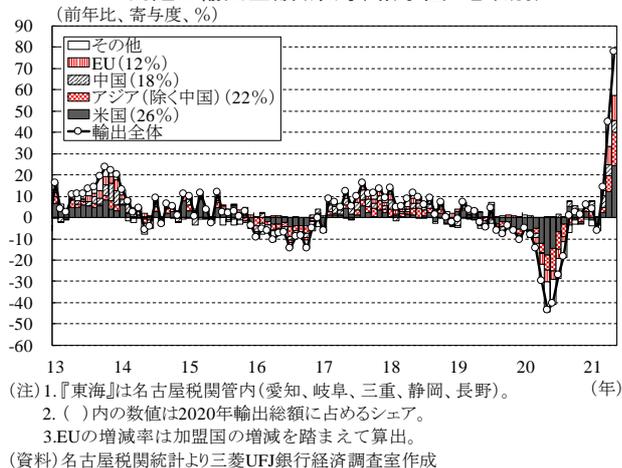
金属工作機械国内受注額



【輸出】

5月の輸出額は前年比+77.9%と3ヵ月連続で増加。昨年から反動増もあり主要地域向け全てがプラスに。

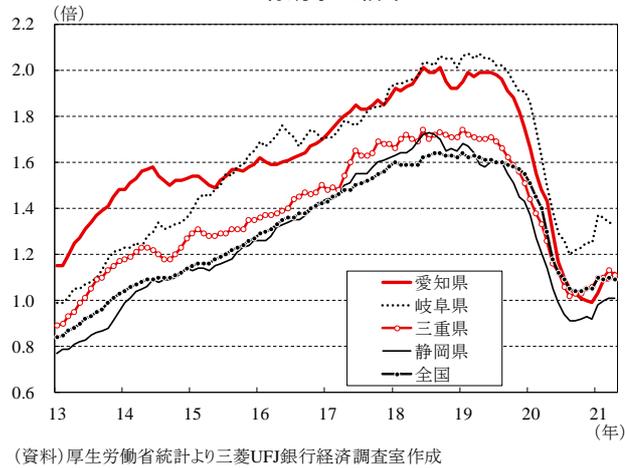
円建て輸出金額(東海、相手国・地域別)



【雇用】

4月の有効求人倍率は愛知で上昇。雇用市場が最大の愛知県は1.12倍と全国(1.09倍)を上回る。

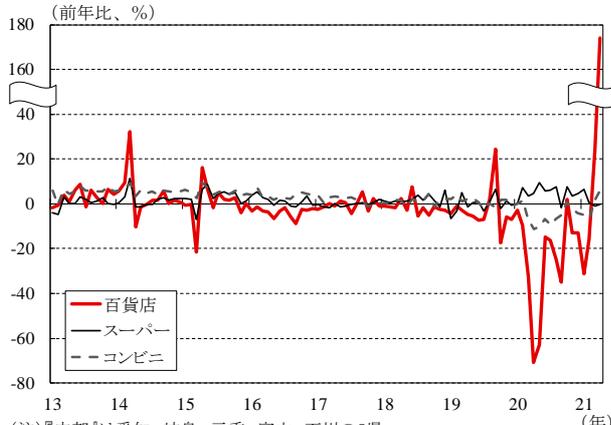
有効求人倍率



【個人消費（小売主要3業態の販売額）】

4月の販売額は、スーパーが前年比▲0.1%の一方、百貨店が同+174.1%、コンビニが同+6.2%と増加。

小売主要3業態の販売動向(中部)

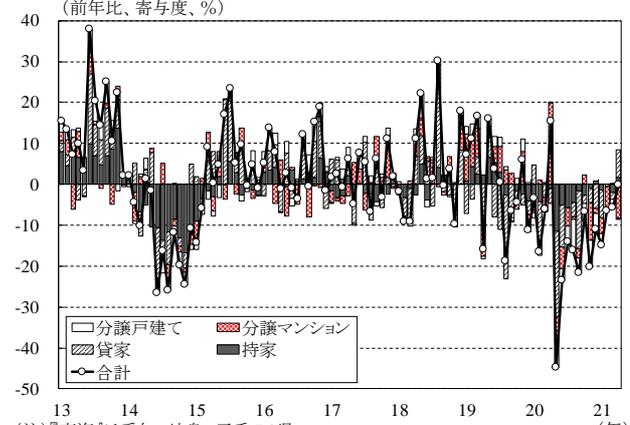


(注)『中部』は愛知、岐阜、三重、富山、石川の5県。
(資料)中部経済産業局統計等より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【住宅投資】

4月の住宅着工戸数は前年比▲0.2%と12ヵ月連続で減少も下げ止まり傾向。持家・貸家は増加に転じた。

新設住宅着工戸数(東海)

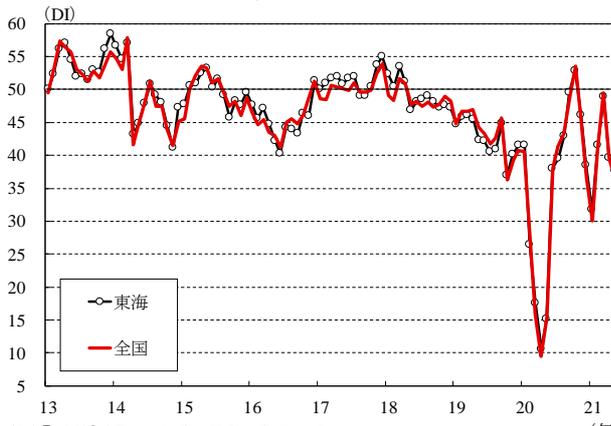


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。
(資料)国土交通省東海より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【景気ウォッチャー調査】

5月の現状判断DIは37.7(前月比▲2.0ポイント)と、感染症再拡大が続く中、2ヵ月連続で低下。

景気現状判断DI

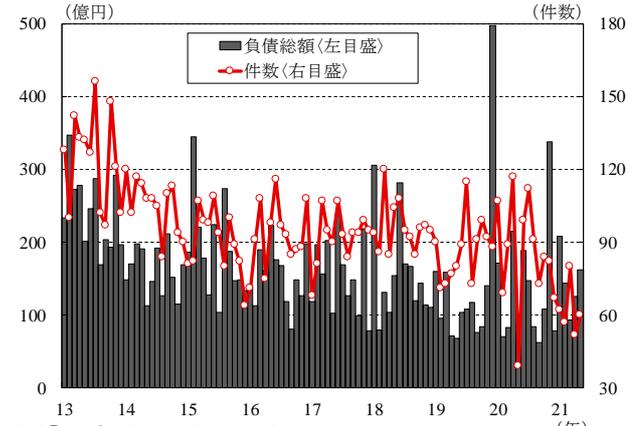


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重、静岡の4県。
(資料)内閣府資料より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【倒産件数】

5月の企業倒産件数は60件(前年比+53.8%)、負債総額は162億円(同+113.2%)と夫々増加。

企業倒産(東海)



(注)『東海』は愛知、岐阜、三重、静岡、長野の5県。
(資料)東京商工リサーチ資料より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【原油価格(WTI)】

米欧での経済活動の正常化が進み、需要も順調に回復するとの見方から70ドル台に上昇。

原油価格

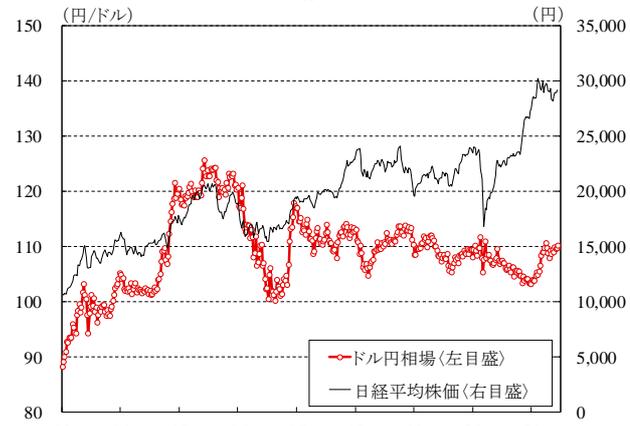


(注)『原油価格』はWTI先物。
(資料)Bloombergより三菱UFJ銀行経済調査室作成

【円相場・株価】

日経平均株価はFRBの金融政策正常化前倒し観測で28,000円台へ下落。円は対ドルで110円台に上昇。

円相場・株価



(資料)Bloombergより三菱UFJ銀行経済調査室作成

照会先：三菱UFJ銀行 経済調査室（名古屋）

福田 洋子 youko_2_fukuda@mufg.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願ひ申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記して下さい。